千葉県葛南土木事務所　所長　徳留顕二様
千葉県葛南土木事務所　次長
（兼）　真間川改修課　課長　上田信幸様

大柏川第二調節池の自然環境に配慮した造成についての提案と要望

2023 年５月２４日　第二調節池連絡会

① 区域外湧水の区域内処理（青色溜池部分）
アカガエルやトンボの産卵場及び水生昆虫の誘導場として緩傾斜の浅い池(最深部 50cm 程)を作る。池の水際（岸）は下図（H22 年度県環境調査報告書）のように埋土種子を活かして下さい。

② その他遊水池部分（白色部分）
雨水の自然流下調節池なので、底面がすべて真っ平でなく、許す限り、所々に低湿地の水溜りを作り、植生が多様になるよう底地設計として下さい。

③ 堤防及び川沿いの緑化
地域に自生する樹木を参考に、要所に高木の成木を、他は苗木を植栽して緑化に努めて下さい。

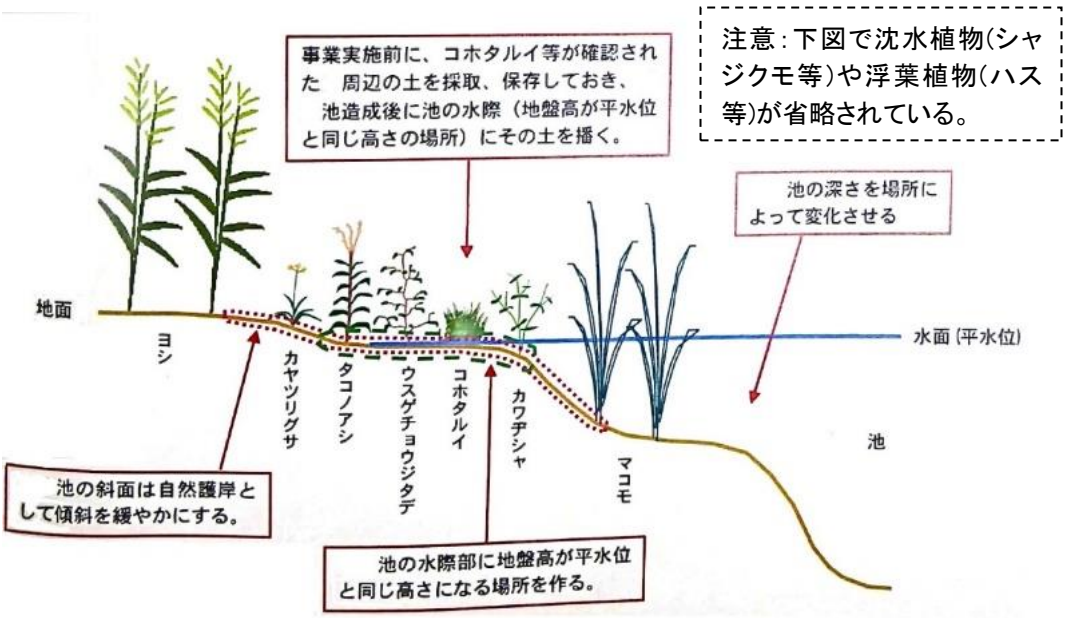
④ 根郷川合流点、ハンノキ林及び大池沿部分、二和川中沢川合流部分（紫部分）
河川同士の合流点は淵が形成される傾向があり、魚類にも優しい木工護岸や蛇籠等の石積護岸を使用した「多自然川づくり」が求められます。また、ハンノキ林の河川沿いや対岸の暫定掘削池の護岸も、増水時にも耐え生物に優しい「多自然川づくり」を採用して下さい。

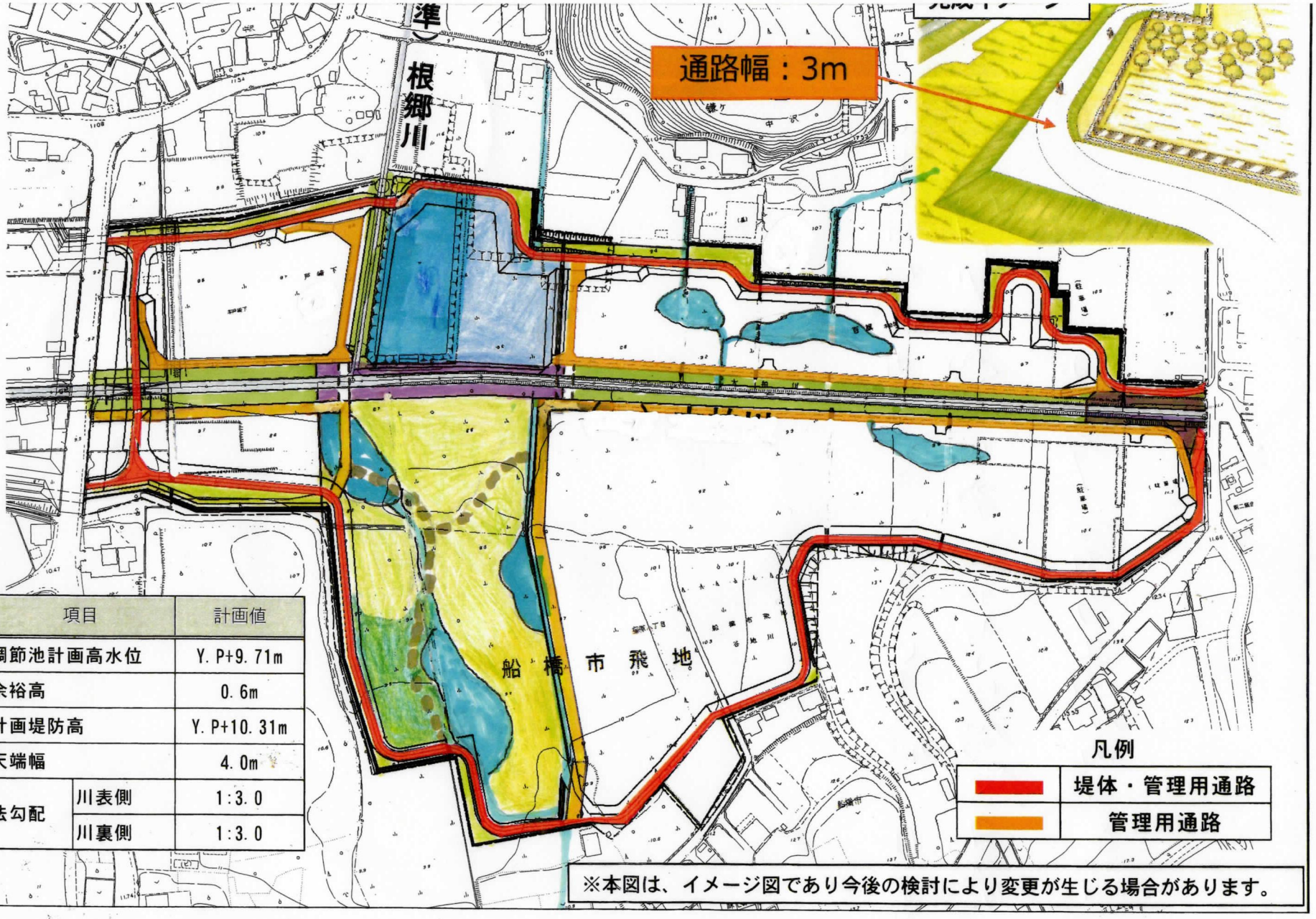
⑤ 暫定掘削池（青色部分）
ハンノキ林の対岸、既存暫定池(濃い青部分､深い池)はそのままとし、隣の部分(淡い青部分)は浅い池とし全体を「大池」として水鳥や水生生物を誘導できるように配慮し、ハンノキ林と開水面の暫定掘削池を対にすることにより、山野の鳥も水辺の鳥も多様な野鳥を誘導出来るようにして下さい。

⑥ ハンノキ林及びヨシ原の保全区域
林内には区域外から２本の水路が通るが、林内に観察路として八つ橋(例：大町公園の観察路)を設ける。水路沿いにアカガエルやトンボの産卵場及び水生昆虫の場として３か所の浅い池(青色部分)を設ける。ハンノキ林南側ヨシ原の一部にクヌギ、コナラ等を中心とした雑木林（緑色部分）を作りハンノキ林単体の林ではなく生物多様性のある里山を復元して下さい

⑦ 対岸からの渡り箇所(白の点線部分)
将来の自然観察のために複数箇所に渡りを設ける。上流部はコンクリート製の飛び石型とし、下流部分はコンクリート製の沈下橋として下さい。

⑧ 河道設計
低水敷の中を流路が蛇行するようにする。河道を木工護岸や蛇籠等の石積護岸のような「多自然川づくり」を行い魚類や水生植物が生育できる環境を作って下さい。





項目		計画値
調節池計画高水位		Y. P+9. 71m
余裕高		0. 6m
計画堤防高		Y. P+10. 31m
天端幅		4. 0m
法勾配	川表側	1:3. 0
	川裏側	1:3. 0

とりい